



丙午の年、変革と挑戦の一年に

小瀬 博之
HIROYUKI KOSE

((一社)建築設備技術者協会 会長、東洋大学 教授)

新しい年の始まりにあたり、一般社団法人建築設備技術者協会（JABMEE）を代表し、会員のみなさま並びに関係各位に謹んで新年のごあいさつを申し上げます。旧年中は本協会の活動に多大なるご支援とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

本年は「丙午（ひのえうま）」の年であります。丙午は、「情熱」や「新しい挑戦」を象徴する年とされています。建築設備業界を取り巻く環境も大きな変化の時を迎えております。カーボンニュートラル実現への社会的要請、DX（デジタル・トランスフォーメーション）の進展、人材不足への対応など、数多くの課題に直面する中、これまでにない発想と積極的な挑戦をもって新しい一步を踏み出す一年にしたいと考えております。

当協会では2016年に作成し2022年に改訂した中長期ビジョン「JABMEE VISION 2030」に基づき、2021年10月に「技術系WG-JABMEE TECH WGs」を立ち上げ、建築環境・設備分野における重要課題を抽出し、8つのWGで業界横断的な知見の集約を行い、会員への知見の還元を進めてまいりました。3年が経過して一定の成果を上げてきたことから改組を進め、社会・業界の変化を的確に捉えた活動を推進できる体制をしたいと考えております。

また、2050年カーボンニュートラルに寄与する建築設備分野の業績に光をあてる「カーボンニュートラル賞」を引き続き実施して、社会的課題の解決に邁進する会員・団体の奨励に努めてまいります。

国の動向として、2025年4月から全ての建築物における省エネ基準への適合義務化の施行に続き、今年4月からのBIM図面審査の導入、さらに建築物のライフサイクルカーボンの算定・評価を促進するための制

度への議論が加速しています。こうした変化は、我々建築設備技術者にいっそうの知識・技能・情報感度の向上を求めるものであり、協会としても制度・技術動向に乗り遅れることなく、積極的な啓発・教育事業を展開してまいります。

組織運営面では、会員のみなさまには若干のご負担をいただく形になっておりますが、従来の赤字経営の改善に取り組み、収支平衡で持続可能な組織運営を行える環境を整えてまいりました。また、建築設備士の資格取得者をはじめとした新規会員の入会促進にも力を入れております。会員となっていただくことで、研修・情報発信・ネットワーク形成など協会の各種サービスを最大限にご活用いただけます。役員・会員の皆様には、身近な建築設備士等の方々への入会呼びかけを重ねてお願い申し上げます。

加えて、全国の支部活動のさらなる活性化を図り、会員交流の場を広げてまいります。多様な会員が集い、現場の課題を共有し、最新の知見や実践例を学び合うことで、地域から日本全体の建築設備技術の底上げを図ります。各支部の独自イベントや研修の開催のみならず、全国イベントとの連携、オンラインを活用したネットワーク拡大にも引き続き取り組んでまいります。

丙午の年にあたり、会員一人ひとりがこれまで培ってきた知恵とネットワークをさらに発展させ、業界全体の技術水準の向上と持続的成長に向けた挑戦を続けてまいりましょう。みなさまの積極的なご参加・ご協力が新たな価値創造と社会貢献につながることを確信しています。

最後に、会員の皆様のご健勝とご多幸、そして建築設備業界全体の発展を心より祈念し、新年のご挨拶いたします。